

式 辞

さわやかな海風がふく、柔らかな春の日差しのもと、ご来賓・保護者の皆様とともに入学式を挙げていただけますこと、大きな喜びを感じております。

80名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから、皆さんと一緒に、小名浜第二中学校での生活をスタートしましょう。

私は、小名浜第二中学校をどのような学校にしていくのか、1つだけ目標を立てています。それは、「活気のある学校を創りたい」ということです。みなさん一人一人が活躍できる学校にするために、いろいろと考え、実践していきたいと思っております。学校の主役はみなさん、一人一人です。

そこで、中学校で生活するうえで、大切なことをみなさんに伝えたいと思っております。

まず一つめは、「聴くこと」です。学習はもちろんのこと、数々の活動には、必ず、目標があり、その実現に向けての方法があります。そのことについて、先生や先輩方は、みなさんにお話をしてくださいます。まずは、しっかりと聴くこと、それを受け入れてやってみる、心と姿勢を養いましょう。

二つめは「自分の考えを持つ」ということです。聴いたことを、自分の言葉にもう一度組み立て直し、じっくりと考えてみましょう。このことを続けていくことによって、学習は教えられるものではなく、自分から獲得するものだ、ということへ発展していくと思っております。先日の入学説明会で述べたように、すべては「I am」から始まります。

そして「自分の考え」を、先生方や先輩方、友達に伝えてください。「聴いて受け入れる」ことからスタートしているみなさんなので、お互いに直しながら、より深い考えにたどり着けると思っております。

三つめは「チャレンジすること」です。できるようになった、と実感する時、みなさんの顔は輝き、全身に力がみなぎるような感じを経験することができると思っております。そのために、小名浜第二中学校では、みなさんを励まし、導いていきます。

保護者の皆様、お子様の入学おめでとうございます。中学校の三年間は、感性が豊かであるとともに、大変不安定な時期でもあります。だからこそ、たくさんのことを吸収し、心身共に成長著しい時を迎えます。このときに、しっかりと生きる力の基礎を養いたいと思っております。生徒たちがそれぞれの目標の実現に向けて歩んでいけるよう、保護者の方々と連携しながら進めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、小名浜第二中学校に学ぶ生徒たちが安心して生活できるよう、教職員一同、真摯に支援・指導することをお誓いし、式辞といたします。

令和6年4月8日

いわき市立小名浜第二中学校長 新家 弘久